

リーダー達の休日

今回のミッションは森林ボランティアに参加しキャンプ用の薪を調達せよ!

3月1日発刊の広報牛久の市民団体情報サイトに、「森林ボランティア募集とまきづくり」の記事が掲載されていた。荒れた里山(平地林)を手入れして甦らせようと、牛久市近郊の大工さん、材木店さん、建築士さんが集まり、ボランティアグループである【木とふれあうネットワーク】さんの主催である。参加者には作業終了後トン汁もあり、以前からボーイ隊長と、キャンプ用まき調達、ツリーハウスと竹の子掘りの候補地情報収集のため、参加の計画していたのだが団行事で重なり、今回やっとの実行となった。

昭和30年代ごろまでは、落ち葉を集め堆肥にしたり、枯れ枝を拾い、雑木を切って、燃料として使っていた。また、山菜を収穫したり、林産物の生産の場であった。ボーイ隊のターゲットバッジ【D群 スカウト技能・追跡 D4 森林】に、■1「森林と人の生活が結び付いている点を挙げる。」①地球温暖化防止(二酸化炭素を吸収し酸素を排出する。) ②国土の保全(砂防林・風防林) ③緑のダム(水源かんよう林) ④林産物の供給(木材・きのこ・たけのこ・山菜・炭・薪) ⑤レクリエーション機能(ハイキング・登山・森林浴・キャンプ)と、里山は生活にはなくてはならない大切な場所だったが、最近では、燃料が薪からガス・電気へ、肥料も有機肥料から化学肥料に変化し、国産の木材は輸入材との競争に押され、林業経営を成り立たず、里山は利用される機会がなくなり荒れ果て行くのである。里山が生き返ると多様な生物が暮らせるようになる。うーん、M副長は、高校は林業科だったので得意中の得意である。でも、九州の実家に持ち山がありながら他人様の山を手入れすることになるとは…トホホである。……

昨日は、足場が悪い中、普段使わない筋肉に鞭打ち、森林ボランティア活動後、今週末の2泊3日ボーイ隊キャンプのパイオニアリングで使用する竹の切り出しを行い、本日はクタクタで体長はグダグダである。ものすごく眠ーいぞ。でも、体重はチームマイナス6%を見事達成!



ホー・ホケキョ♪

ウグイスの初鳴き

今年、みんなはウグイスの鳴き声を聞いたかな?

M副長宅(ウシクヒルズ)付近で、3/10に初鳴きを確認。ボーイ隊長宅(ツツジヒルズ)では、3/9に確認された。

気象庁の、「ウグイスの初鳴日の等期日線図」(日本地図上に初鳴日の同じ地点を結んだ線)の3/10の数値とほぼ一致しました。恐るべし自然の力!

号外 M副長新聞

おにぎり3個で、一日楽しめたぞ!



2009.3.9 第24号

私は チーム・マイナス6%です



今回の活動場所は、東林寺さまのある山。そう! 4団のビー・カブ畑がある新地町の里山なのだ。このポイントは人が立ち入れないほどに、篠竹が密集していたが、手入れを始めて、今年で11年目にしてほぼ全体を切り開くことができたそうである。西側には、牛久沼も一望でき、手作りブランコもある。沼から吹き上げる風が心地よく、夏場はキャンプもできそうだが、「モーウ!、モーウ!」とウシガエルの鳴き声で寝られないそうだ。この【木とふれあうネットワーク】さんは、牛久市内で3箇所の里山を手入れと管理をされているそうで、岡見城址もその1つとのこと。【薪ストーブクラブ】という組織もあり、手入れの際切り倒した木を持ちて帰れるのである。みなさん自分のチェーンソーを所持し、聞くところによると自宅の薪ストーブ用の薪確保もさることながら、チェーンソーで木を切り倒すことが楽しいらしい。M副長はこの人たちを、「チーム:ジェイソン」と勝手に命名した。*注意:あくまでも洒落であり悪意はありません





8:30集合。会長さんの挨拶と本日の作業スケジュールの説明を受ける。この場所は今年で11年目だそうだ。



恒例の旗印掲揚。いかなる時も自分たちの活動をアピールする。ボーイ隊長とM副長であった。



草刈機で切った篠竹が密集している箇所の撤去作業と、つるの除去を担当する。超密集でかなりの量を引っ張り出した。



10時の一服タイム。お菓子と、お茶を頂きました。本日の参加者は50名弱。お子ちゃまも6名参加。



こちらは、薪ストーブクラブのチーム「ジェyson」(M副長命名)。チェーンソーで、立木を次々に切り倒していく。



午前中で作業終了。おにぎりは持参し、おいしいトン汁を頂きました。やはり野外での食事は最高である。



STIHL社製のおもちゃのチェーンソー

実際の2/1のサイズと音で、単三電池3本を使用し、本物を操作している感覚で遊べるぞ！

* 価格は、1基 3,675円(税込価格)

我々の旗印が講評だったので、【木とふれあうネットワーク】さんのものを、デザインしてみた。中央はトンパ文字で「里山」と記してある。

